

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 3 年 4 月 14 日

事業名称		社会教育事務費 [社会教育事務事業]									
予算科目	款	10	教育費	項	4	社会教育費	目	1	社会教育総務費	事業番号	2
事業の種別		☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし) ☒ 課内庶務等 ☐ 休止したもの ☐ 廃止したもの									
担当部署・課長名		社会教育 課 生涯学習 係				課長名		高田 匡章			
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号		1 - 2	
【施策名】 生涯学習の充実								総合計画書(ページ)		35	
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 社会教育課生涯学習係の職員				→		① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 職員(会計年度任用職員を含む)の人数				
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 生涯学習係の庶務を的確かつ滞りなく行い、また係の各事業を円滑に実施するための補佐事務を行う。				→		② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 毎月定量的(回数等)に行う業務及び必要に応じて適宜行う業務で発生した遅延等の回数(目標値: 0回)				
	③ そのために何をしましたか。 ①会計年度任用職員の報酬支払業務 ②出張旅費等の精算業務 ③事務に必要な消耗品、切手等の補充・購入 ④教育委員会用自動印刷機点検委託業務				→		③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 毎月定量的に行う業務及び必要に応じて適宜行う業務の処理回数				
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績		令和3年度目標		令和4年度目標	
	対象指標	①の数値	人	11	8	8					
	成果指標	②の数値	回	0	0	0					
	目 標	②の目標値	回	0	0	0					
目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。)											
3 経費	事業費(実績)		円	2,556,201	2,952,189	3,683,585		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)			
	財源	一般財源	円	2,556,201	2,952,189	3,683,585					
		特定財源	円								
	(うち受益者負担)		円								
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.4	0.4	0.4					
		所要人数(再任用)	人								
		職員人件費(再任用以外)	円	3,297,600	3,324,000	3,352,000					
職員人件費(再任用)		円									
事業費+人件費		円	5,853,801	6,276,189	7,035,585						
4 課題	今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) ※廃止したものを除く 庶務担当者は、生涯学習係が所管する各種イベント業務も兼任するため、繁忙期には庶務業務に遅延等が生じる可能性がある。繁忙期には、他の職員が応援に入ること、業務の遅延等が生じないよう工夫する必要がある。令和2年度は多くの生涯学習係の事業が新型コロナウイルス感染症の影響により中止となり、各関係団体への通知等の必要性が増え、定期的に切手等を購入、また予算残額の確認を頻繁に行う必要があった。										
	5 今後の方向性	仕事の方向性(「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など) ※廃止したものを除く 庶務担当者は、他の職員と庶務に関する情報共有を図るとともに、適宜、業務の円滑化につながる工夫を心掛ける。									